

ともだち

Be Together 2017. 4

◆トピックス(2017年1月～3月)

■多文化サロン インドネシア

2月18日、中央公民館で、インドネシア・スラウェシ島の北部にあるマナド出身のファデル・トゥンガンさんをゲストに招いて



多文化サロンが行われました。参加者は25人。ファデルさんは、写真やインターネットを使って、マナドの美しい海や世界で2番目に大きなキリスト像などの観光名所や、インドネシアの言葉や音楽を紹介しました。また、インドネシアの味として、手作りのツナの揚げパンとココナッツの餡が入ったお菓子(写真)が、ジャワティと共にふるまわれました。ファデルさんは「とても緊張したけれど、マナドを紹介できてよかった。将来は親孝行できるようにがんばりたい」と優しい笑顔で話していました。(都市友好部会)



■青少年グローバル人材育成講演会

2月19日、中央公民館で、青少年を対象にした講演会が開催され、アジア学院(栃木県那須塩原市)校長の荒川朋子さんが、「いのちと食べものを大切に世界の人たちと共に生きる」と題して講演しました。アジア学院は、発展途上国の農村の指導者を日本に招いて、農業研修をとおして友好を築くことを目的



を日本に招いて、農業研修をとおして友好を築くことを目的

にできた学校で、農機具や化学肥料などを使わない、どこでも実践できる有機で無駄の少ない農業を指導しています。「安全な食べ物の安定した供給は、農村の発展や人々の幸せな暮らしに貢献できる。つまり農村を支えるリーダーを育てることは、平和を作るリーダーを育てることだ」という講師の言葉に、参加者50人は真剣に耳を傾けていました。(青少年育成部会)

「理解から貢献へ」青少年育成部会長 中島雅利

子ども達には、異文化理解や国際交流にとどまらず、学んだ知識や能力を国内はもとよりグローバルな立場で貢献できる人、何かを与えられる、必要とされる人材に成長して欲しいと思います。



■外国人のための法律相談

2月19日、高崎市役所で、外国人のための法律相談が群馬県観光物産国際協会との共催で行われ、7か国13人の外国人が通訳付きで弁護士、行政書士、社会保険労務士に相談しました。相談内容は、外国人特有のビザの問題をはじめ労働契約や離婚のことなど多岐にわたりました。(事務局)

■多文化スピーチ

3月5日、高崎市労使会館で、多文化スピーチが行われました。24人の参加者は、5人のスピーチを熱心に聞き、質問していました。後半は少人数のグループに分かれて、発表を囲んで、和やかにおしゃべりをして交流を深めました。(事業部会)



~~~~~ スピーチより ~~~~~



アン・グエン・ティ・ヴァルさん(ベトナム出身)

日本語ができなくてバイト先の上司に叱られて辛かったですが、来日の目的を思い出して頑張りました。大学を卒業して4月から日本の企業で働くことが決まっています。



アリエル・セシリオさん(アルゼンチン出身)

陶芸を学ぶために世界中を旅してきました。今は倉渚で手びねり、ろくろをやっています。自然いっぱいの環境で、日本人との交流もできて夢がかないました。



ジェミー・トーマスさん(アメリカ出身)

米国トヨタで通訳アシスタントとして働き、その後JETプログラムで日本に来ました。日本語はまだですが、毎日少しずつでも前に進んでいることが大事だと思います。



アンナ・イノザキさん(アメリカ出身)

日本の小説を英訳してきました。相互理解のために、皆さんに小さな事からでも始めて欲しいと思います。できる事はたくさんあると思います。



よこ たしとん 横田欣彤さん(台湾出身)

日本はどこでも安全に水が飲めて素晴らしいと思います。台湾はフルーツが豊富で安いです。映画「千と千尋の神隠し」は台湾の都市がモデルです。

◆おしらせ (2017年4月~2017年5月)

■バトルクリーク市との交換教員・学生募集

姉妹都市バトルクリーク市(アメリカ)との国際交流事業で、交換教員・学生を募集します。7月下旬から8月中旬までバトルクリーク市の交換教員・学生と相互に約10日ずつホームステイをします。申し込みは、5月9日(火曜日)までに、交換教員は履歴書、交換学生は市内の高校と協会事務局にある参加申込書に学校長の推薦書を添えて事務局へ。後日選考(面接含む)を行います。【交換教員】●応募資格=①市内に在住か市内の学校に勤務している教員 ②国際交流に関心がある ③日常生活程度の英会話ができる ④交換学生を引率できる ⑤ホームステイの受け入れができる ●定員=1人 ●費用=渡航費を全額補助(飲食等は別途必要) 【交換学生】●応募資格=①市内に在住の高校生 ②国際交流に関心がある ③市の国際交流活動に積極的に参加できる ④ホームステイの受け入れができる ●定員=4人 ●費用=15万円程度(飲食等は別途必要)

■ジュニア・インターナショナル・クラブ(JIC)の会員募集

ジュニア・インターナショナル・クラブの会員を募集します。会員は、国際交流イベントへの参加や国際機関への訪問などを通じて国際理解を深めます。●対象=国際交流に興味のある市内に在住の小4年生~中学生 ●費用=7,000円 ●定員=40人(定員を越えた場合は選考) ●申込=4月24日(月

曜日)までに、はがきに住所、氏名(ふりがな)、学校名、学年、性別、電話番号、応募動機(自筆)を書いて事務局へ

■フランス家庭料理教室

フランス出身で高崎在住のパン職人ボジェンスタル・バティストさん(ももパンatキネマト)から、キッシュ、アマレット、ケーキの作り方を学びます。●日時=5月29日(月曜日)午前10時~午後1時 ●場所=中央公民館(末広町) ●費用=1000円 ●対象=会員と市内在住の人 ●定員=先着20人 ●申込=5月8日(月曜日)午前10時から電話で事務局へ

■語学ボランティア養成講座

ボランティア通訳者の養成を目的とした講座です。終了後は積極的に通訳・翻訳ボランティアに参加してください。中国語は3年連続講座の2年目(補充募集)、ベトナム語は新規に始まる講座です。詳しくは隣りのページ【表1】を見てください。

■春の日本語教室

生活に役立つ日本語、文化や習慣、生活のルールなどを小さなグループかマンツーマンで学べます。学習をお手伝いするのはボランティアで、専門家ではありません。いずれのコースも計10回です。●対象=日本語を母語としない人 ●費用=500円 ●申込=コースの始まる1週間前までに事務局へ。詳しくは隣りのページ【表2】を見てください。

こ がく ようせいこうざ  
【表1】語学ボランティア養成講座

| こうざめい<br>講座名       | こうし<br>講師                                                                         | たいしょう<br>対象                                                               | にちじ<br>日時                                                             | かいじょう<br>会場                  | ていいん<br>定員          | ひよう<br>費用                                                      |
|--------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------|------------------------------|---------------------|----------------------------------------------------------------|
| ちゅうごくごこうざ<br>中国語講座 | たかさきしちゅうごくご<br>高崎市中国語<br>そうだんいん<br>相談員<br>たばたみずか<br>田畑瑞華さん                        | ちゅうごくごかんたん<br>中国語で簡単な日常会<br>わが<br>話ができる会員と市内<br>ざいじゅうさいいじょう<br>在住の18歳以上の人 | らいねん<br>5月15日～来年2月19<br>げつようびけい<br>日の月曜日(計25回)<br>ごぜん<br>午前10時～11時45分 | ちゅうおう<br>中央<br>こうみんかん<br>公民館 | 8人<br>せんこう<br>(選考)  | かいいんえん<br>会員6,000円<br>いっばんえん<br>一般8,000円<br>* テキスト代<br>べつ<br>別 |
| ごこうざ<br>ベトナム語講座    | たぶんかこうし<br>多文化講師<br>Nguyen Thi My<br>Phuongさん                                     | ごきょうみ<br>ベトナム語に興味のあ<br>かいいんし<br>る会員と市内在住の18<br>ないざいじゅう                    | らいねん<br>5月18日～来年2月22<br>もくようびけい<br>日の木曜日(計25回)                        |                              | 20人<br>せんこう<br>(選考) |                                                                |
| もうしこみほうほう<br>申込方法  | はがきに講座名、氏名、郵便番号、住所、電話番号、学習歴を含めた志望動機を書いて4月24日(月曜日)までに事務局に郵送してください(24日必着)。はがき1枚で1人。 |                                                                           |                                                                       |                              |                     |                                                                |

はる にほんごきょうしつ  
【表2】春の日本語教室

| きょうしつめい<br>教室名              | めい<br>コース名      | じかん<br>時間           | きかん<br>期間   |
|-----------------------------|-----------------|---------------------|-------------|
| ちゅうおうこうみんかんきょうしつ<br>中央公民館教室 | かようび<br>火曜日コース  | ごぜん<br>午前10時～12時    | 5月9日～7月11日  |
|                             | もくようび<br>木曜日コース | ごご<br>午後7時～8時30分    | 5月18日～7月20日 |
|                             | どようび<br>土曜日コース  | ごご<br>午後1時30分～3時30分 | 5月13日～7月15日 |
| なかいこうみんかんきょうしつ<br>中居公民館教室   | すいようび<br>水曜日コース | ごご<br>午後6時30分～8時    | 5月10日～7月12日 |
|                             | げつようび<br>月曜日コース | ごご<br>午後7時～8時45分    | 5月15日～7月17日 |
| ぐんまふくしかいかんきょうしつ<br>群馬福祉会館教室 | すいようび<br>水曜日コース | ごご<br>午後4時30分～6時15分 | 5月17日～7月19日 |
|                             | げつようび<br>月曜日コース | ごぜん<br>午前10時～11時45分 | 4月17日～6月26日 |
| じゆうくうかん<br>自遊空間みちくさ教室       | どようび<br>土曜日コース  | ごぜん<br>午前10時～11時45分 | 4月15日～6月24日 |

◆ PEOPLE PEOPLE


今年度の PEOPLE PEOPLE は、高崎市在住の国際結婚している方や家族が国際結婚している方に、日ごろ感じていることなどを寄稿していただきます。

こくさいけっこん いま むかし  
**国際結婚 今と昔**

ウィルソン・カナイ(ペンネーム)

結婚してから40年の歳月が流れようとしています。互いに環境の異なる国で生まれ育ちましたから、感情や言葉の難解によって擦れ違いが生じてしまうことも多々ありました。今思えば懐かしい思い出です。ブラジルでは妻が主体的に対応し、日本においては私が行なう。特に子供の教育に関しては、学校の行事や宿題などを分担しましたね。高崎市国際交流協会が発足した30年ほど前は、市内在住者で国際結婚をしている人は極少数でしたが、その後、高崎市にもグローバル化の波が押し寄せ、多くの外国人が在住するようになり、勤務先で知り合い結婚にゴール。一方では、海外への転勤や留学によって長期滞在し、滞在先の国の人と結婚して帰国するカップルも少なくありません。ひと昔もふた昔も前なら国際結婚を奇異に感じ、「なぜ? どうして?」の疑問詞が挨拶代わり。今では、身近に

必ずいる存在となってしまいましたね。その結果、新しいタイプの日本人が生まれ、スポーツなど多くの分野で活躍する姿が話題となっています。国際結婚とはstimulusが 沢 山 かな? ただ、国際結婚で難しい問題は、子供の教育でしたね。どちらの国の教育を受けさせるべきか悩みましたが、私たちは上の子が中学、下の子が小学校入学の時期に決断して帰国しました。しかし、残念なことに大きな壁が立ちふさがりました。言葉の問題、いじめ、古いガチガチの教育六法など。子供たちにとって残酷な時期でしたでしょうね。でも、おかげさまで今は立派な日本人の子供たちの親になっています。最後に、国際結婚して良かったですかと聞かれても、私たちだけでなく多くの国際結婚をしている人たちは、もちろん「良かった」と答えるでしょうね。なぜなら、相手の国を理解し好きだからでしょう。





## 「ロヒンギャ」を知っていますか

かせだ ともこ  
悴田 智子

上座部仏教徒が多く暮らすミャンマーで、政府や国民から迫害を受けて国外に流出し、母国に帰れなくなったムスリムの人々、彼らが「ロヒンギャ」です。最近では2015年の春にアンダマン海に大量に流出したことで、日本でも報道されました。しかし、ロヒンギャの大量難民化は既に1970年代後半から始まっていました。ミャンマー史の転換点で、民族問題や宗教問題、政権運営における様々な負の要素が絡み合い、ロヒンギャへの迫害は強さを増していったのです。ロヒンギャの中には、難民として命からがら日本へ逃れてきた人々もいます。彼らの多くは、実はここ群馬（館林市）に集住しています（群馬以外に住む人もいます）。私は2015年から2年間、ロヒンギャ問題の背景とロヒンギャの現状について研究し、修士論文を執筆しました。執筆のための調査として、ロヒンギャの声もわずかですが取材しました。日本での難民認定率が先進諸国に比

べて低いことは、皆さんもご存知かと思います。ミャンマー出身者は従来、他国の出身者より比較的認定されやすい状況ではありましたが、ロヒンギャはほとんど難民認定を得られていません。彼らはそんな苦境の中でも、ポートピープルとなって保護を待つ仲間のために、日夜請願活動に従事しています。近年、ミャンマーはいちおうの「民政移管」の状態となりました。しかし、「民主化」により一般市民に「言論の自由」が認められたことで、ロヒンギャに対するヘイトスピーチが氾濫するという、残念な側面も出てきています。事実上の指導者となったアウンサンスーチーが、ロヒンギャの救出に積極的でないという国際的な批判もあります。しかし、アウンサンスーチーですら解決に苦しむような困難な問題、それがロヒンギャ問題なのです。この問題が解決しないうちは、ミャンマーのこの先の発展はなかなか難しいのではないかと、私は感じています。



## ラジオ高崎「マイタウン高崎」

ほうそうにちじ  
【放送日時】

だい きんようび ご ご  
第1・3金曜日 午後12時30分～12時45分

さいほうそう ご ご  
再放送 午後7時15分～7時30分

ほうそうよてい  
【放送予定】

こうかながくせいじぎょう  
4月 7日 交換学生事業

ほしゅう  
4月21日 JIC募集

としゆうこうぶかい  
5月 5日 都市友好部会

かいはいりょうりきょうしつ  
5月19日 海外料理教室

こくさいおやこうりゆうかい  
6月 2日 国際親子交流会

ほうそうにちじ ないようか  
※放送日時や内容が変わることがあります。



76.2MHz

## がいこくじんせいいかつそうだん 外国人生活相談

がいこくご せいいかつそうだん  
外国語で生活相談ができます

たいおうげんご そうだんび  
【対応言語と相談日】

えいご げつようび きんようび ごせん ごご  
英語 月曜日～金曜日 午前8時30分～午後4時30分

ご ちゅうごくご げつようび もくようび ごご  
ポルトガル語と中国語 月曜日と木曜日 午後1時～5時

ばしょ  
【場所】

たかさきし やくしょかい こくさいこうりゆう  
高崎市役所2階 国際交流コーナー

でんわ そうだん  
電話でも相談をすることができます

でんわ  
【電話】 027-321-1201



## へいせい ねんど にゆうかいてつづ 平成29年度の入会手続き

しんき こうしん うけつけちゆう  
（新規・更新）を受付中

へいせい ねんど かいひ じむきょく ゆうびんふり  
平成29年度会費を事務局と郵便振

こみ う つ  
込で受け付けています。

かいひ こじん えん だんたい ほうじん  
●会費＝個人2,000円 団体・法人

えん かいいん きかん らいねん  
10,000円 ●会員期間＝4月～来年3

ねんかん ふりこみこうざ ゆうびんきょく  
月の1年間 ●振込口座(郵便局)＝

こうざ きごうばんこう か  
口座記号番号＝00130-1-151030 加

にゆうしやめい たかさきし こくさいこうりゆうきょうかい ふり  
入者名＝高崎市国際交流協会 ※振

こみてすうりょう きょうかい ふたん  
込手数料は協会が負担しますので、

つうじょうはらいこみりょうきんか にゆうしやふたん はらいこみとり  
通常払込料金加入者負担の払込取

あつかいひょう りょう  
扱票をご利用ください。

かいいんきかん まいねん よくねん  
なお、会員期間は毎年4月から翌年3

とちゅうにゆうかい ばあい  
月です。途中入会した場合でも3月に

かいいんきかん しゆうりょう  
は会員期間が終了します。

## ともだち

はっこう たかさきし こくさいこうりゆうきょうかい  
発行 高崎市国際交流協会

たかさきし たかまつちよう  
〒370-8501 高崎市高松町35-1

TEL 027-321-1201

FAX 027-330-1819

MAIL office@takasaki-irs.org

HP http://www.glocalfive.net/tirs

はっこうび へいせい ねん ねん  
発行日 平成29年(2017年)4月